



代表記者会見

The 12th East Asia Local and Regional Government Congress

第12回東アジア地方政府会合 代表記者会見

時間

▶ 2023年10月26日17:30-18:15

場所

▶ 藍海国際ホテル沂河店4号館3号会議室

10月26日午後、第12回東アジア地方政府会合の成果記者会見が行われた。臨沂市委員会常務委員、隗新陽副市長は会合の成果状況を発表し、記者の質問に回答した。日本奈良県山下真知事、インドネシアの西ジャワ州政府と行政地方自治局のユリア・デヴィタ局長、韓国忠清南道瑞山市のグオン・ヒョクムン副市長は関連状況について記者の質問に答え、ベトナム・フートー省外事庁のヨ・ヴァン・クアン長官は会見に出席した。

今回の会合は臨沂市人民政府が主催で、日本の奈良県政府が共催である。「東アジアは共に、ウィンウィンの協力を。」をテーマに、会談や会見、テーマ討議、エクスカージョン・見学など14の活動を行われ、オンラインとオフラインで52の会員や関係機関が参加した。豊富な成果を収め、発展の共通認識を結集した。

高水準の位置づけ、国際的な視野により、会合ブランドの知名度はさらに向上した。今回の会合には外交部、山東省政府及び省属の関係部門の責任者、会員地方政府代表、在魯外国総領事館及び代表機構責任者など約300人が現場に参加し、会合の規模とレベルはいずれも歴代で最も高かった。会合の会員地方政府は最初の3カ国の19の地方政府から現在の7カ国の76の地方政府に発展し、会合の国際的な影響力は徐々に拡大している。

開かれた協力と思想の融合により、東アジアの友情の求心力が一層強まった。会合はバイ会談、マルチ会談などのさまざまな形式を総合的に利用し、思想交流のプラットフォームを構築し、各方面の共通認識が得られた。首長円卓会議では「持続可能な発展」をテーマに、一連の重要な共通認識と協力意向を達成した。メインセッションでは「RCEP協力枠組みの下で、地域間交流と協力を強化する方策」と「現代的なビジネスロジスティクスシステムを構築することにより、質の高い経済社会の発展を促進する方法」という2つの議題をめぐって深く議論し、東アジア交流の相互学習を深め、協力と発展の共通認識を結集するために「臨沂からの貢献」を果たした。会合では「第12回東アジア地方政府会合臨沂イニシアティブ」を発表し、参加する地方政府に資源共有、グリーン低炭素、開拓的なイノベーションなど8つの方面でイニシアティブを出し、「RCEP地域協力の優

れた研究成果と実践事例」を発表し、RCEP地域協力の深化に理論と実践の二面で支援をした。

手を携えて歩み、優位性を補完し、経済貿易協力の新たな原動力をさらに引き出す。会合では投資貿易、文化観光などの分野の協力プロジェクトの集中契約式を行い、農業、新材料、対外貿易、文化観光など32個の協力プロジェクトを契約し、投資額は155億元に達した。投資貿易及び文化観光プロモーションを開き、日本の奈良県、静岡県、ベトナム・フートー省、中国の洛陽市、敦煌市、榆林市と臨沂市がそれぞれ紹介し、地方政府交流の深化、協力・ウィンウィンを促進した。

文化を媒介とし、学び合い、互いに参考し、臨沂市の国際的な影響力が一層強化された。会合では第12回東アジア地方政府会合地方政府紹介コーナー及び「臨沂無形遺産」展示を設置した。参加者たちは会合期間中に沂州古城の大型室内公演「国秀・朗琊」を鑑賞し、「点靚沂河」の水城の美しさを楽しむとともに、臨沂商城、王羲之旧居、臨沂市計画展覽館などを見学した。同時に、新華社、中央テレビ放送局、ロシアスプートニク通信社、ベトナムの「ニャンザン」など数十社の国内外メディアを招き、全過程、多言語報道を行い、世界に会合のメッセージを伝え、臨沂市のイメージを紹介した。

